

令和4年度

国庫補助金重要文化財美術工芸品江川家関係資料保存修理実施概要

●【事業の目的】

公益財団法人江川文庫が所蔵する重要文化財葦山代官江川家関係資料のうち、特に保存修理の必要性がある書画・古文書について、令和4年度の事業として保存修理を実施した。

●【全体の事業期間】 令和4年4月5日～令和5年3月31日

●【事業体制】

文化庁の調査官による現地指導の下、修理専門業者である株式会社墨仁堂に業務委託して実施。

●【本年度の総事業費および補助金額、収入先の明細】

総事業費 3,814,645 円、文化庁補助金 2,479 千円、静岡県 445 千円、所有者負担 890.645 円

●【本年度修理内容概要】

1 文化 13 年(1816) (唐船護送船乗組人数書付等綴/からぶねごそうせんのりくみいんにんずうかきつけ などとじ) 29.0×17.6 冊子装 文・記 27999

綴じを解体、1紙ずつ漉き嵌めによる修理後、再度綴じ直して厚紙で保護、元の整理用封筒に収納

2 年不詳、江戸時代 (東南アジア地図帳写) 27.3×38.8、冊子装丁絵図 文・記 32423

綴じを解体、松ヤニで各紙料コーティングしてあるため、1紙ずつ手埋めによる修理、貼り合わせ後、再度綴じ直して別に誂えた収納箱に納めた。

3 文化 13 年(1816) 「護送御役人中様本船江御積附之品代金附書上帳/ごそうおやくにんちゅうさまほんせんへおつみつけのしなだいきんつけかきあげちょう」 24.6×16.9 冊子装 文・記 7309

綴じを解体、1紙ずつ漉き嵌めによる修理後、再度綴じ直して厚紙で保護、元の整理用封筒に収納

4 文化 13 年(1816) 「護送御役人中分本船江御積附代金附書上帳」 24.5×17.4 冊子装 文・記 7310

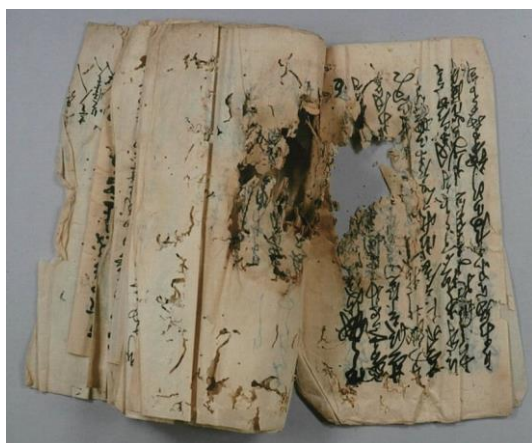
綴じ、付箋を解体、1紙ずつ漉き嵌めによる修理後、再度綴じ直し、付箋戻し卯を行い、厚紙で保護、元の整理用封筒に収納

5 文化 13 年(1816) (下田町絵図、港より大安寺への道順図示) 27.8×38.7 絵図 文・記 31939

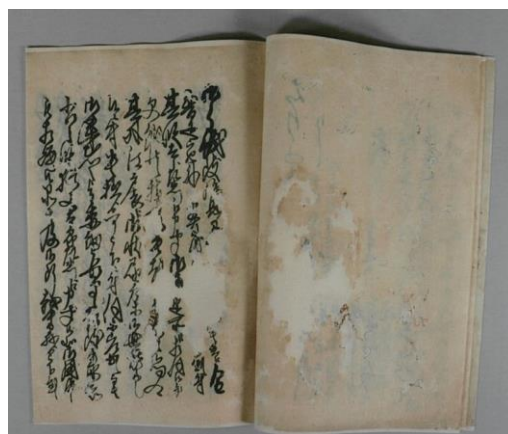
着色部分があるため手埋めによる修理、別に誂えた収納箱に納めた。

●【修理イメージ】

1 文化 13 年(1816) (唐船護送船乗組人数書付等綴)



修理前



修理後

2 年不詳、江戸時代（東南アジア地図帳写）



修理前

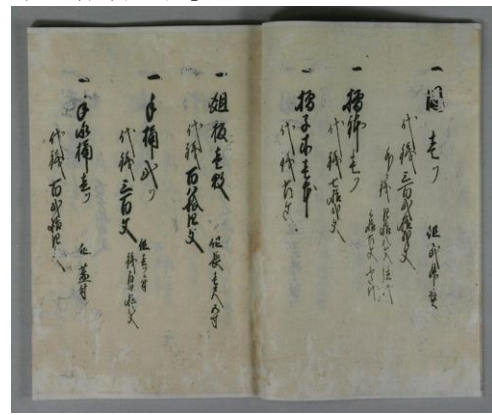


修理後

3 文化 13 年(1816) 「護送御役人中様本船江御積附之品代金附書上帳」

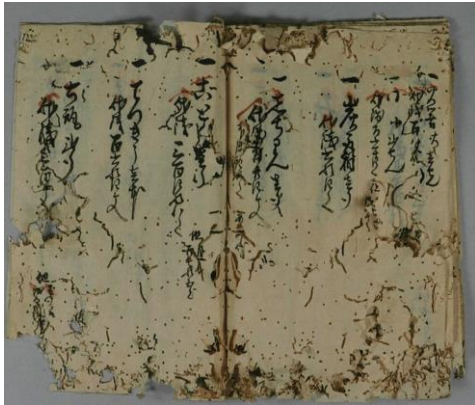


修理前

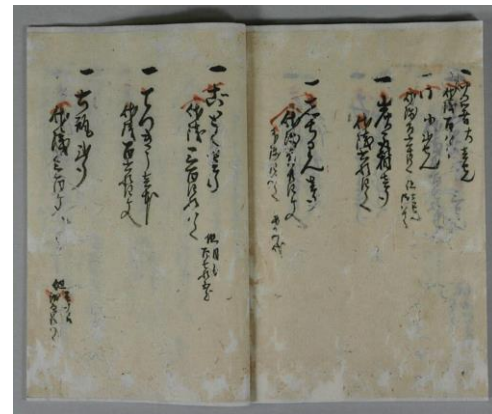


修理後

4 文化 13 年(1816) 「護送御役人中分本船江御積附代金附書上帳」



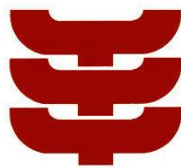
修理前



修理後

制作: 令和5年3月 31 日

●【活用】江川文庫内において展示、公開を行う。



重要文化財美術工芸品江川家関係資料保存修理事業

●本事業は、文化庁美術工芸品需要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

Supported by the Agency for Cultural Affairs. Government of Japan in the fiscal 2022